

うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	30名
執行機関	理事会	12名
監査機関	監事	2名
常設委員会	葬祭事業運営委員会	10名
	献血推進協議会	32名
	契約締結審査会	8名
	貸付調査委員会	9名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
部会	高齢者福祉部会	12名
	障害者（児）福祉部会	15名
	児童福祉部会	12名
	福祉教育部会	12名
	ボランティア部会	12名
特別委員会	随時設置	

役員名簿（平成25年3月31日現在）

役職	氏名（選出区分）	
理事（会長）	坂手 進	（有識者）
〃（副会長）	稲田 好男	（有識者）
〃（副会長）	石井 忠孝	（有識者）
〃	原田 一郎	（区長会）
〃	古賀 恒徳	（公民館・ふれあいセンター）
〃	永井ケイ子	（民生委員・児童委員協議会）
〃	高山 敏枝	（議会）
〃	鎌田 康秀	（行政）
〃	江島 義信	（有識者）
〃	舎川 晴一	（有識者）
〃	淵上 正子	（有識者）
〃	岩崎 道代	（有識者）
監事	伊藤 正勝	（有識者）
〃	小林 誠一	（有識者）

常設委員会委員長名簿（平成25年3月31日現在）

委員会名	委員長名
葬祭事業運営委員会	高浪 務
献血推進協議会	坂手 進
契約締結審査会	大石ヨシ子
貸付調査委員会	江藤 武夫
地域福祉活動計画策定委員会	伊藤 正勝

部会長名簿（平成25年3月31日現在）

部会名	部会長名
高齢者福祉部会	舎川 晴一
障害者（児）福祉部会	家永 重信
児童福祉部会	別府 美江
福祉教育部会	堀江 繁樹
ボランティア部会	岩佐 捷之

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等で対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

平成24年度事業報告

うきは市社会福祉協議会は、社会福祉法に規定する役割と社会福祉協議会の歴史を踏まえ、5つの運営理念のもと「住民皆さまの会」として「だれもが幸せに暮らせるまちづくり」を推進しました。

—概要—

【会員制度、寄付金、共同募金】

住民皆さまの会として、毎年お願いしている住民会費ですが、今年度も各世帯への趣意書の配布、会費の集約等については、区長会の全面協力を頂き、合併後初めて区長駐在のすべての区から納入がありました。

世帯の納入率をみると、合併時(平成17年度)の61.9%から24年度は68.3%と上向きで推移しています。ただ、校区、区によって納入率に差異があるため、引き続き地域に出向いて社協活動の啓発に努めていく必要があります。

一方、寄付金と共同募金配分金は、合併直前(平成16年度)に比べ△1,100万円と30%の減となりました。景気低迷や高齢化も影響していると思われそうですが、このまま減少傾向となって地域福祉活動に影響を及ぼさないよう、これまで以上に社協活動を理解して頂く工夫が必要です。

【第2期地域福祉活動計画(25年度～29年度)策定】

平成20年度に策定した「うきは市地域福祉活動計画」に続く第2期計画を3月に策定を完了しました。

前回と同じくうきは市が策定する「うきは市地域福祉計画」と一対のものとして策定し、策定過程では、まず各年代を網羅した市民意識調査と市内11地区で開催した座談会での現計画の評価をまとめ、これを行政、地域、社協の各部会代表、当事者代表等によるプロジェクト委員会で議論の後、原案を作成し、これに関係機関・団体代表者等による策定委員会で加筆修正等を行い策定されました。

このように、多くの市民の意見や各層の参加を経て策定されたこの計画ですので、絵に描いた餅にならないよう、行政とも定期的に計画の評価・見直しをして行くこととしています。

同時に、市民等への周知・啓発のため、次年度にはダイジェスト版の作成、市役所ホームページでの公開を予定しています。

【校区福祉活動計画策定】

7月の九州北部豪雨災害の際には、地域で独自に避難支援や助け合い活動が起き、日頃の絆の強さ・大切さを実感させられたところです。

地域福祉活動計画は、このような共助活動が地域に広がり、互いに歩調を合わせていくことで正に絵に描いた餅となりません。これまで御幸校区、妹川校区、江南校区で校区福祉活動計画を策定して頂きましたが、他の校区は、市が進めている新しい自治組織との関係もあり計画策定の検討自体を留保している状態となっています。

今後、地区ごとに新しい自治組織の在り方の検討がなされるなかで、これまでの福祉活動が変わらずに進められるようになることを期待します。

【九州北部豪雨災害と災害ボランティアセンター】

7月16日朝、うきは市から協定に基づく設置要請を受け、午前9時には総合福祉センター内に「うきは市災害ボランティアセンター」を設置しました。8月3日閉所までの間に県内外から延べ518名のボランティアの参加を得、延べ84件のニーズに対応しました。

この災害直前の5月に市の防災訓練の一環として全職員とボランティア・両筑地区社協職員で災害ボランティアセンター設置訓練をしていたことと前年に両筑地区社協(うきは市、朝倉市、東峰村、大刀洗町、小郡市、筑前町の6社協)

間で「災害時相互支援協定」を締結していたことが、現実の場で活かされることとなり、正に「備えが大事」であることが痛感させられました。

職員派遣をして頂いた災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、県社協、両筑地区社協を始めとする県内各社協と運営費を全額助成して頂いた福岡県共同募金会には心から感謝申し上げます。

今後の課題としては、市災害対策本部との情報共有、福祉避難所の再検討、災害時避難支援者の自主防災組織への位置づけ、運営マニュアルの見直し、多様なニーズへの対処方法、ニーズ対処と災害ボランティアの安全確保、民生委員等支援者側の疲労緩和、協力団体等との協力関係の継続、長期に及んだ場合のセンター運営方法等が挙げられますので、行政とも協議しながら一つひとつ解決していきます。

【福祉小座談会と小地域福祉活動】

福祉小座談会の開催は、失業、低所得、認知症疾患、精神疾患、虐待、育児放棄、不登校・引きこもり、孤立等様々な悩みを抱え困窮している住民の救い上げに大きな役割を果たしています。

困窮の実状を精査すると複数の問題が重なり合って困窮要因を作り上げているケースが多く、支援には、そのそれぞれの問題に対応する相談機関やサービスと連携・調整を図りながら当事者との伴走を基本にして困窮からの早期脱却に努めました。

ただ、まだ困窮当事者の暮らす地元地域を巻き込んだ支援の和づくりの実績は少なく、今後の課題であります。

【不登校・引きこもり相談支援】

市から委託を受け3年目、この間、全国的にも先例が少なく手探りのなか相談支援員が粘り強く本人や家族との距離を縮めながら信頼関係を築いてきました。このような取り組みにより24年度では不登校者の約7割が登校・進学・就職等に、引きこもり者の約3割が進学・就職等へと踏み出すことができました。

一方この数字から、学齢期を過ぎて引きこもりの状態から次のステージに進むことは、本人・家族にはより高いハードルとなるとみられ、このことは学齢期前からの早期対策が求められています。

今後も関係機関との密接な連携のもと、個々の当事者との信頼関係を大事に伴走の姿勢で一歩ずつ前へ踏みだして行けるよう支援していきます。

【在宅福祉事業】

基本目標「だれもが幸せに暮らせるまちづくり」を福祉サービス面から支えるため、介護保険事業、障害者自立支援事業、市受託事業に加え、制度の狭間を埋めるサービスを独自サービスとして提供するなど多様なサービスの提供に努めました。

これを経営面から見ると、これまでの漸減傾向を漸く止めることができ、予算比、前年実績比で12%増と平成20年度実績まで近づきました。

ただし、訪問介護員（ホームヘルパー）等介護職員の応募者不足等の原因には、介護職員の処遇改善の問題があり、平成25年4月からは改正労働契約法の施行がされるため、長期視点に立った雇用改善を図ることが課題として残されています。

また、社会保障制度国民会議では、軽度者を介護保険制度から外し市町村事業とする案など議論されおり、この議論の推移と次期報酬改定の動きを注視しながら対策を考える必要も出てきました。

【障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）】

一昨年10月1日に新体系に移行以来、「就職したい」、「働きたい」という利用者の思いに応えるため、訓練、学習の充実や地元事業所に職場実習の受け入れ開拓を行うなどにより、昨年度に続き1名が近隣事業所に就職することができました。

今後も利用者が1人でも多く就職でき、就職後も安定してその仕事を続けられるようサポートするには関係機関や地元企業との連携強化が課題として挙げられます。

【葬祭事業】

長年の懸案事項であるうきは斎場駐車場の拡張については、年度途中で漸く用地の目処が立ち、補正予算の承認を得て造成工事を行うことができました。

次年度建設予定の小規模別館と合わせて、更に市民の要望に応えていける体制となります。

I 総務部門

1. 法人運営事業

(1) 【理事会：全10回】 次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

期日 回数	出席 (理事/監事)	内 容
5/15 第82回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員（補欠）の選任について ・うきは斎場駐車場用地買収について
5/24 第83回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度事業報告の認定について ・平成23年度一般会計及び特別会計収支決算報告の認定について ・定款の一部変更について ・地域福祉活動計画策定委員会委員（補欠）の選任について
6/4 第84回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長（補欠）の互選について ・役員候補者推薦委員（補欠1名）の選任について ・顧問の選任について ・感謝状贈呈について ・うきは斎場駐車場用地買収及び今後の進め方について ・正規職員の採用について
7/30 第85回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは斎場駐車場造成工事及び別館建設計画（案）について ・職務代理者の指名について ・うきは市災害ボランティアセンター設置規程の制定について ・評議員の委嘱（補欠）について
8/17 第86回	9/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度一般会計第1次資金収支補正予算（案）について ・地域福祉活動計画策定委員会委員の選任について
9/20 第87回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・指定障害福祉サービス事業所運営規程の廃止制定について ・定款の変更について ・平成24年度葬祭事業特別会計第1次資金収支補正予算（案）について
11/13 第88回	11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度公益事業特別会計第1次資金収支補正予算（案）の修正について ・評議員の委嘱（補欠）について
12/18 第89回	10/1	<ul style="list-style-type: none"> ・処務規程の一部改正について ・平成24年度歳末たすけあい事業について ・随意契約によるうきは斎場別館新築工事実施設計の委託について
3/25 第90回	9/1	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の職位変更（正規職員登用）について ・平成25年度事業計画（案）について ・平成25年度一般会計及び特別会計資金収支予算（案）について ・第三者委員の選任について ・就業規則の一部改正及び関連規程の廃止について ・評議員の委嘱（補欠）について ・理事・監事・評議員選任規程の改正について
3/29 第91回	10/2	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

(2) 【評議員会：全4回】 次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

期日 回数	出席者 出席／総数	内 容	会 場
5/29 第32回	24 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度事業報告の承認について 平成23年度一般会計及び特別会計収支決算報告の承認について 定款の一部変更について 理事（補欠）の選任について 	うきは市 総合福祉センター
9/24 第33回	23 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度一般会計第1次資金収支補正予算について 定款の変更について 	うきは市 総合福祉センター
11/16 第34回	20 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度公益事業特別会計第1次資金収支補正予算について 	うきは市 総合福祉センター
3/29 第35回	22 / 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業計画（案）について 平成25年度一般会計及び特別会計資金収支予算（案）について 理事・監事・評議員選任規程の一部改正（案）について 定款の一部変更について 	うきは市 総合福祉センター

(3) 【監査：全5回】

	期 日	内 容	会 場
第1回	5/22	平成23年度決算監査	うきは市総合福祉センター
第2回	7/23	平成24年度第1期監査（4月～6月）	うきは市総合福祉センター
第3回	10/19	平成24年度第2期監査（7月～9月）	うきは市総合福祉センター
第4回	1/22	平成24年度第3期監査（10月～12月）	うきは市総合福祉センター
第5回	3/15	平成24年度第4期監査（1月～2月）	うきは市総合福祉センター

(4) 【会長・副会長会：全10回】

会長・副会長会を4/26、6/28、8/7、8/17、9/18、10/6、10/18、11/5、1/15、3/6に開催。

(5) 【社協会員に関すること】

①住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	145 / 160	90.6%	72,500	104	52,000	124,500
新川	122 / 145	84.1%	61,000	67	33,500	94,500
田籠	59 / 71	83.1%	29,500	48	24,000	53,500
小塩	211 / 240	87.9%	105,450	70	35,000	140,450
山春	758 / 836	90.7%	378,800	534	267,000	645,800
大石	695 / 903	77.0%	347,100	528	264,000	611,100
御幸	1,697 / 2,249	75.5%	847,260	890	445,000	1,292,260
千年	607 / 1,550	39.2%	303,200	244	122,000	425,200
吉井	1,020 / 1,562	65.3%	509,800	260	130,000	639,800
福富	883 / 1,312	67.3%	441,300	115	57,500	498,800
江南	700 / 1,077	65.0%	343,000	86	43,000	386,000
市外				11	5,500	5,500
合計	6,897 / 10,105	68.3%	3,438,910	2,957	1,478,500	4,917,410

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

②団体会員 年会費5,000円

社会福祉法人両筑福祉会（知的障害者通所授産施設浮羽学園）

社会福祉法人浮羽コロニー（知的障害者更生施設希望が丘）

社会福祉法人函南会（特別養護老人ホームえびね荘）

社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）

社会福祉法人ふたば会（特別養護老人ホーム水月吉井）

絆データシステム株式会社

（6）市民（会員）に対する弔意に関すること

うきは市民（社協会員）でお亡くなりになった方へ、社協より弔電をお送りしました。

（7）職員の技量向上に関すること

職員の技量向上のため、下記のような研修を行いました。

	期日	参加者（対象）	内 容
第1回	4/19	67名（全職員対象）	・平成24年度事業の説明 ・災害ボランティアセンターマニュアルの説明 ・グループ討議
第2回	5/27	53名（全職員対象） ボラ連20名、両筑社協10名、県社協3名	・災害ボランティアセンター設置訓練
第3回	11/27	67名（全職員対象）	・グループ討議を踏まえて取り組むこと ・災害ボランティアセンター活動報告 ・災害ボランティアセンター設置マニュアル見直し ・交通安全の取り組み
第4回	3/5	38名（自主）	・全社協主催研修会に参加して学んだこと とうきは市の比較について

（8）緊急・災害時対応マニュアル作成に関すること

7月の九州北部豪雨災害の被災を踏まえ、職員による緊急・災害時対応マニュアル策定プロジェクト委員会を開催し、策定済のマニュアルの整合性の検証と修正を行い、緊急・災害時に利用者等の事故及び混乱を未然に防ぎ、或いは最小限にとどめるため、社協職員がどう対応すべきかの手順を定める改訂マニュアルを作成しました。

	期日	参加者	内 容
第10回	11/13	7名	現マニュアルの内容確認と修正、部署別マニュアル作成の協議等
第11回	12/7	8名	前回修正点等の確認・まとめ、災害別対応の検証等

2. 指定管理施設運営事業

各施設が施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。また、広報やパンフレット等を活用し市民の方々に広く周知し、11/28には、うきは市老人憩の家にて「憩の家まつり（芸能発表会）」を、1/29にはうきは市老人福祉センターちかぜにて「カラオケ大会」を行いました。

(1) うきは市老人憩の家 (人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	半額免除	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)			
年間計	292	4,869	877	188	5,934	2,584	3,350	336	434	6,704
1日平均		16.7	3.0	0.6	20.3	8.8	11.5	1.2	1.5	23.0
月平均	24.3	405.7	73.1	15.7	494.5	215.3	279.2	28.0	36.2	558.7

(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館 (人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	宿泊者	貸室 利用	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)				
年間計	307	2,131	5,615	2,489	10,235	4,810	5,425	593	60	909	11,797
1日平均		6.9	18.3	8.1	33.3	15.6	17.7	1.9	0.2	3.0	38.4
月平均	25.6	177.6	467.9	207.4	852.9	400.8	452.1	49.4	5.0	75.8	983.1

(3) うきは市総合福祉センター (人)

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	293	274	6,061	100	1,179	3,929	11,169
1日平均		0.9	20.7	0.3	4.0	13.4	38.1
月平均	24.4	22.8	505.1	8.3	98.3	327.4	930.8

3. 公益事業

「生活の無駄を省く運動」の一環として、昭和51年より葬祭事業を、平成16年度にはうきは斎場を建設し斎場葬を実施。公益事業として誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるように努めました。また、斎場葬儀の利便が図られるように以前より要望があった駐車場拡張のため、現斎場隣地に用地の確保及び造成工事を行いました。

□利用件数 132件（自宅・寺院葬 25件 斎場葬 107件）

□委員会・・・次の日程にて委員会を開催しました

	期日	会場	出席者
葬祭事業運営委員会	6/18	うきは斎場	委員9名
葬祭事業運営委員会	6/28	うきは市総合福祉センター	委員8名
葬祭事業運営委員会	12/3	うきは市総合福祉センター	委員8名
葬祭事業運営委員会	3/18	うきは斎場	委員9名
うきは斎場別館建設委員会	6/18	うきは斎場	委員5名
うきは斎場別館建設委員会	6/28	うきは市総合福祉センター	委員5名
うきは斎場別館建設委員会	7/11	うきは市総合福祉センター	委員5名
うきは斎場別館建設委員会	12/3	うきは市総合福祉センター	委員4名
うきは斎場別館建設委員会	2/26	うきは斎場	委員5名

II 地域福祉活動部門

1. 調査・研究事業

(1) 部 会

次の日程・内容にて各部会が開催され、地域の福祉課題に関して研究・意見の集約をおこない、会長に提言がなされました。

部会名	期日	出席者	協 議 事 項
高齢者福祉部会	6/25	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・三役の互選 ・23 年度部会活動について ・24 年度部会活動について
	12/4	委員 6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズについて「小座談会より」 ・配食について ・よりあい活動の啓発について
	2/25	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・25 年度社協事業への提言について
障害者（児）福祉部会	6/25	委員 12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・23 年度部会活動について ・24 年度部会活動について ・高齢者・視覚障がい者用 LED 付音響装置について
	9/26	委員 12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・人権フェスティバル出展内容の検討について ・先進事例視察先の検討について
	12/9	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは市人権フェスティバル参加
	1/22	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市健軍くらしささえ愛工房視察研修
	2/7	委員 12 名	<ul style="list-style-type: none"> ・健軍くらしささえ愛工房視察研修意見まとめについて ・25 年度社協事業への提言について ・人権フェスティバルへの参加について ・「こころホスピタル」の障害児放課後デイサービスの送迎のことについて
児童福祉部会	6/25	委員 10 名	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の児童福祉分野に関する事業について ・23 年度部会活動について ・うきは市における児童福祉分野の課題について
	11/19	委員 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・研修「うきは市における要保護児童の実態について」 講師 うきは市子育て支援係 家庭児童相談員 高松恭子氏
	2/20	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の社協活動の取り組み、部会活動について ・25 年度社協事業への提言について
福祉教育部会	6/25	委員 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の互選 ・23 年度の提言について ・24 年度の取り組みについて、意見交換
	2/20	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・24 年度社協事業の取り組み ・25 年度社協事業への提言について
ボランティア部会	6/25	委員 9 名	<ul style="list-style-type: none"> ・23 年度部会活動について ・うきは市社協のボランティアに関する事業について ・24 年度部会活動について
	10/17	委員 6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま福祉会・筑後吉井こころホスピタル重心障害児ショートケアさくらんぼ視察研修（障害児支援ボランティア参加）
	2/13	委員 8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア入門講座報告 ・第 2 回ボランティア部会のまとめ ・ボランティア啓発について ・25 年度社協事業への提言について
部会名	期日	出席者	内 容
合同部会	6/25	委員 49 名	<ul style="list-style-type: none"> ・部会員の委嘱（交替者、新任者） ・23 年度部会活動について

(2) 第2期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定

うきは市の地域福祉を進める基となる、第1期計画の実施期間が、平成24年度終了するに当たり、平成25年度から平成29年度の5カ年を期間とする第2期計画を、第1期計画同様、うきは市と一体となって策定しました。

①地域福祉活動計画策定委員会の開催（うきは市地域福祉計画審議会との合同開催）

期 日	会 場	出 席 者	内 容
10/12	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員15名	・委嘱状交付 ・計画の趣旨説明 ・住民意識調査及び地区座談会の結果報告 ・今後の策定の進め方について
1/16	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員15名	・「次期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画」 素案の検討 ・パブリックコメントの実施について
2/27	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員17名	・パブリックコメントの結果について ・「次期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画」 (案)について

②地域福祉計画・地域福祉活動計画プロジェクト委員会の開催

期 日	会 場	出 席 者	内 容
10/29	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員17名	・趣旨及び策定方針に関する説明 ・市民意識調査及び地区座談会結果の報告 ・チーム編成等
11/19	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員16名	・現計画（第4章 具体的な取り組みと役割分担） の現状課題、方策案、役割分担について意見交換
12/4	うきは市総合福祉センター 2階大会議室	委員21名	・「第3章 計画の基本的な考え方」の協議 ・「第4章 具体的な取り組みと役割分担」の協議

(3) 社協だよりを活用した住民アンケート調査

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかわら版を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。
(ふくしのかわら版6月号、9月号、12月号、3月号にて実施) 16通

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

(4) うきは市基本データの集積

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市役所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、4月にうきは市基本データを集積しました。

2. 企画・広報事業

(1) 住民啓発資材（社協名入り入浴剤、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するために、住民配布用の資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを配布しました。

(2) 広報カーの活用

たすけあい献血活動などを広報するために、社協の広報カーを活用しました。

(3) 行政放送の活用

社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(4) 福祉座談会の実施

社協活動について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。(実施回数 11回)

4/14 (東町区)	4/26 (千年校区区長会)	5/27 (能楽区)
5/30 (東の4.5区)	6/30 (東小江区)	7/5 (西福益区)
8/22 (福久区)	8/26 (東・西橘田区)	12/4 (サンコーポラス区)
12/8 (国本区)	2/8 (隈の上区)	

3. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
ふれあいセンター、地区公民館福祉部	ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政(福祉事務所)	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政(総務課消防防災係)	行政・社協事務連絡調整会議	地域防災計画の見直し 災害時要支援者について他
行政(福祉事務所・保健課)	地域福祉講座運営委員会	地域福祉講座の開催
両筑管内社協(6市町村社協)	両筑地区社協連絡会	事業内容、課題解決他

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者(担当所管)
地域福祉計画審議会	第2期計画の策定	福祉事務所福祉係
精神障害者地域支援会議	地域生活への移行支援	北筑後保健福祉環境事務所
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	福祉事務所福祉係
自殺対策協議会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係

4. たすけあい献血事業

うきは市からの委託を受けて、地域献血・年頭献血・事業所献血を行いました。地域献血・年頭献血においては、各公民館・区長会などの協力を得て実施することが出来ました。

(1) 献血推進協議会

期 日	会 場	出席者	内 容
11/16 (金)	うきは市総合福祉センター	委員 20名	平成23年度献血運動について 平成24年度献血運動について 年頭たすけあい献血について

(2) 地域献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者	
5/21 (月)	全 域	ムラおこしセンター	2	188	154	81.9%	34
10/5 (金)	全 域	市役所西別館	2	208	164	78.8%	44
合 計		2会場	4	396	318	80.3%	78

(3) 年頭たすけあい献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者	
1/3 (木)	大 石	大石公民館	1.5	108	94	87.0%	14
	福 富	福富公民館	1	56	47	83.9%	9
	新 川	新川公民館	0.5	19	19	100.0%	0
	田 籠	田籠公民館	0.5	16	13	81.3%	3
	妹 川	尼ヶ瀬公民館	0.5	21	20	95.2%	1
1/4 (金)	御 幸	うきは市公民館	2	141	116	82.3%	25
	山 春	山春公民館	1.5	90	81	90.0%	9
	小 塩	小塩公民館	0.5	27	24	88.9%	3
	千年・江南	市役所西別館	1	107	94	87.9%	13
1/5 (土)	吉 井	うきは市生涯学習センター	1	63	48	76.2%	15
	浮羽町	男女共同参画センター	1	70	55	78.6%	15
合 計	11 会場		11	718	611	85.1%	107

(4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者	
4/20 (金)	うきは警察署	0.5	33	30	91.0%	3
	テクノ月星	0.5	32	26	81.3%	6
9/24 (月)	テクノ月星	0.5	29	27	93.1%	2
12/4 (火)	福岡県生コンクリート工業組合青年部 (JAにじ本所)	1	101	82	81.2%	19
合 計	3 会場	2.5	195	165	84.6%	30

(5) 会議、研修会等

期 日	会議、研修会名	会 場	参加者
5/31 (木)	福祉教育推進指定校連絡会	総合福祉センター	15名

(6) 献血活動の広報

献血活動を推進するために、市広報・社協だより「ふくしのかわら版」への掲載、各行政区、市内主要箇所におけるポスターの掲示、広報カー・市役所防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血チラシの全戸配布を行い、市民の皆さんにお知らせいたしました。

また、地域献血及び事業所献血では、参加者に対しBOXティッシュを、年頭たすけあい献血では、参加者にマグネットを進呈しました。

5. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

(1) 福祉サービス利用援助事業

本会独自事業として、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。支援契約にあたっては、契約締結審査会の意見答申を受けて締結しました。また、支援の充実を図るために業務を補助する生活支援員を5名に増員しました。

[契約締結審査会]

	期 日	会 場	出席者
第1回	6/20	うきは市総合福祉センター	委員5名
第2回	10/4	うきは市総合福祉センター	委員6名
第3回	1/28	うきは市総合福祉センター	委員8名

◆3月末の契約者数 21名

- ①福祉サービス利用援助 3月末利用者数 13名
(福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払代行等)
 - ②日常的金銭管理 3月末利用者数 19名
(公共料金等の支払代行、預貯金の出し入れ支援等)
 - ③書類等預かりサービス 3月末利用者数 20名
(日常的な金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり)
- ※複数のサービスを利用されている方もあります。

相談経路 [平成24年度利用者(契約者・試行利用者・状況観察者)実人員27名]

福祉事務所保護係	10	ケアプラン事業所	1	元雇用主	1
地域包括支援センター	3	福祉小座談会	1	医療機関	1
民生委員・児童委員	3	後見人	1	本人	1
小学校	1	親族	1		
障害者相談支援センター	2	入所先施設	1		

◆援助者数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	6	6	6	6	5	5	6	6	6	6	7	7
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	9	9
	精神障害者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	その他	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	1	1
状況観察		2	1	3	1	1	3	1	1	0	0	0	0
合計		21	19	21	19	18	20	21	22	21	22	22	22

◆訪問、活動回数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者	高齢者	48	40	36	38	37	32	41	38	32	40	39	46	467
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	39	45	40	27	34	29	61	42	45	37	36	51	486
	精神障害者	19	13	18	13	19	10	22	19	14	16	14	17	194
	その他	32	38	31	27	35	29	44	34	28	30	34	35	397
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	8	19	18	20	9	10	84
状況観察		4	1	4	1	13	20	3	0	0	0	0	0	46
合計		142	137	129	106	138	120	179	152	137	143	132	159	1,674

◆その他◆

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	0	0	1	3	1	1	3	0	1	4	0	0	14
新規契約者	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	5
契約終了者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

また、認知症高齢者や障害者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応(行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整)など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立てに繋げるなど対応しました。

(2) 啓発活動

説明用パンフレットを社協窓口を設置。また、区長会全体説明会や民生委員児童委員協議会等の関係機関に配布しました。

(3) 成年後見事業（試行）

試行的に、身寄りがないなどの理由で市長申立てを行う方を対象に受任し、財産管理や介護サービスの契約等を行うための準備をしておりましたが、今年度は該当する申込みがありませんでした。しかし、法人後見人として受任できるための準備、研究をおこないました。

6. 障害者地域生活支援事業

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障害者の様々な相談に応じると共に、障害者自立支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害者障害程度区分認定調査及び障害程度区分認定審査会への参加を行いました。

◆相談件数・相談内容◆

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合計
相 談 方 法	電 話	17	220	400	406	84	1,127
	来 所	115	178	559	152	94	1,098
	訪 問	39	115	69	30	5	258
	F A X・メール	1	0	3	0	0	4
合 計		172	513	1,031	588	183	2,487
相 談 内 容 内 訳	①福祉サービスの利用	9	18	24	39	13	103
	②障害や病状の理解	4	6	56	22	22	110
	③健康・医療	20	20	122	30	5	197
	④不安の解消・情緒安定	9	32	221	9	14	285
	⑤保育・教育	0	0	1	0	0	1
	⑥家族関係・人間関係	10	17	136	7	10	180
	⑦家計・経済	13	70	58	11	7	159
	⑧生活技術	5	31	11	1	0	48
	⑨就労	18	5	10	15	3	51
	⑩社会参加・余暇活動	7	7	70	2	0	86
	⑪権利擁護	0	0	0	42	1	43
	⑫その他	77	307	322	410	108	1,224

◆会議等◆

障害程度区分認定調査件数	79件
障害程度区分認定審査会参加	9回
地域自立支援協議会参加	1回
地域自立支援協議会事務局会議参加	4回
地域自立支援協議会児童部会参加	5回
地域自立支援協議会就労支援部会参加	3回

(2) 障害者地域支援センター(ほっとスペースうきは) 利用促進

うきは市総合福祉センターにおいて、障害者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。

また、随時見学も受け入れており、今年度はリーフレットを作成配布し、啓発に努めました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	36	39	40	33	56	26	47	42	37	48	44	42	490	
内 訳	身体障害者	8	4	7	5	6	3	19	20	3	6	4	5	90
	知的障害者	4	4	2	5	6	2	3	1	5	2	4	2	40
	精神障害者	19	18	18	16	15	14	14	14	17	16	21	20	202
	障害児	0	0	0	0	5	0	1	0	0	6	0	1	13
	関係者・家族	5	13	13	7	24	7	10	7	12	18	15	14	145
利用者延人数	135	120	128	98	146	102	101	94	103	129	143	154	1,453	
内 訳	身体障害者	31	18	24	17	24	22	18	24	12	14	10	14	228
	知的障害者	8	5	5	5	8	5	7	1	9	4	7	3	67
	精神障害者	91	81	84	68	77	68	62	62	70	81	104	121	969
	障害児	0	0	0	0	5	0	1	0	0	6	0	1	13
	関係者・家族	5	16	15	8	32	7	13	7	12	24	22	15	176
新規登録者数	24	3	4	0	2	0	1	0	2	2	1	0	39	
内 訳	身体障害者	2	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7
	知的障害者	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	6
	精神障害者	18	3	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	26
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6	3	13	
内 訳	身体障害者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	知的障害者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	精神障害者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	7
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4

■ほっとスペースうきはでは次の行事を行いました。

6月28日：卓球大会 8月4日：野球観戦 8月9日：料理教室 12月20日：クリスマス会

(3) うきは市障害者相談支援センター

法改正に伴い、新たな事業所の指定を受けました。

■指定一般相談支援事業（県みなし指定 4月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

■指定特定相談支援事業（市指定 10月1日）：居宅サービス利用計画の作成

■障害児相談支援事業（市指定 10月1日）：障害児通所サービス利用計画の作成

7. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置・午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催、当事者の会（Switch：スイッチ）の活動支援等を積極的に展開しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で開催した家族会は、延べ12回開催、111名の参加がありました。

◆支援実人数と相談・訪問支援件数◆

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	18	21	39
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	425	269	694
訪問支援（自宅訪問） / 回	94	62	156
合計	519	331	850

◆支援状況◆

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進学決定	4	就労開始・継続	6
登校開始・継続	7	進学・資格取得支援	2
就労移行	2	支援開始	3
不登校気味	1	他機関へ移管	2
完全不登校	3	ひきこもり気味	4
ひきこもりへ移行	1	完全ひきこもり	4
合計	18	合計	21

◆フリースペース利用状況・回数◆

利用実人数	人数
不登校	7
ひきこもり	6
家族・関係機関	21
利用者	回数
不登校	287
ひきこもり	217
家族・関係機関	209

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催◆

開催日	会場	参加者数	内容
6/19 (火)	うきは市総合福祉センター	16名	「子どもたちの見守り・支援の谷間を作らない為に」 久留米大学 社会福祉学科 教授 門田 光司 氏
10/26 (金)	うきは市総合福祉センター	20名	「子どもたちの心の声を聞く ～福岡市における取り組みから～」 福岡市ひきこもり成年地域支援センター チーフコーディネーター 緒川 秀俊 氏
2/26 (火)	うきは市総合福祉センター	18名	「私たちが伝えたい不登校・ひきこもり ～元当事者2人から伝える未来へのメッセージ～」 コーディネーター：久留米大学 社会福祉学科 教授 門田 光司 氏 パネラー：元当事者2人（うきは市出身者）

■家族会・当事者の会支援

(1) 家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日 19時から定例会を開催。参加者は毎月10名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏（教育文化研究所代表）をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについてを考えました。

(2) 当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

昨年6月からフリースペースを利用している当事者によって、自分たちで支え合う団体（セルフヘルプグループ）として活動を行いたいとの声により、当事者の会 Switch が設立。メンバーでの交流活動や赤い羽根共同募金での街頭募金活動、社協内での事務手伝いにおける社会人との交流・体験就労等行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個人個人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

8. ふれあいのまちづくり推進事業

(1) 総合相談事業

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談に応じられるよう相談所を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週火～金曜日 9:00～15:00

相談場所：水・金／浮羽事務所 火・木／吉井事務所

開設日数	200
相談者	105
相談経路 来所	86
// 電話	19
相談件数	105

相談援助事項

終了解決	48	
相談継続	10	
社協による援助実施	3	
弁護士相談紹介	14	
他機関・組織への紹介	30	
内 訳	民生委員児童委員	7
	福祉事務所	6
	その他行政機関	8
	その他民間組織	9

	相談事項	件数	内 容	内数		相談事項	件数	内 容	内数		
暮らし 住まい	生計問題	12	公的扶助(生活保護)	2	法律	人権法律問題	1	暴 力	1		
			生活福祉資金	1		財産問題	13	遺産分割	1		
			ローン問題	4				遺 言	2		
			公私借入問題	2				土地売買	1		
			サラ金問題	3				境界線(相隣問題)	1		
	年金問題	1	年金手続き	1				金銭貸借	2		
職業・生業問題	2	求 職	2	名義変更				1			
家 族	住宅問題	4	借 家	2				債務整理	1		
			間 借	1				その他	4		
			増改築	1				事故問題	4	交通事故	3
	家庭問題	13	夫婦関係	2		災 害	1				
			親子関係	5		福祉・教育	2	児童福祉・母子保健問題	1	児童虐待	1
			嫁姑関係	2				教育・青少年問題	1	その他	1
			別 居	1	障害者(児)福祉問題	2	就 労	1			
			親族問題	2			精神疾患	1			
	その他	1	老人福祉施設	3	寝たきり	1					
	離婚問題	5			離婚相談	3	老人福祉施設	1			
養育費					1	その他	1				
親権者指定・変更			1	その他	17	行政施策に関する苦情	5				
医療問題	2	医療施設	1			相隣関係の苦情	8				
		医療費用	1			その他の苦情一般	4				
					その他	24		24			
					計				105		

②母子・父子・女性相談

相談開設：年12回（毎月第1木曜日）
 相談場所：偶数月／浮羽事務所
 奇数月／吉井事務所

	浮羽	吉井	計
相談開設	6	6	12
相談来訪者	1	1	2
電話相談	0	0	0
相談件数	1	2	3
内容	生活苦	0	1
	住宅問題	0	0
	離婚	0	0
	その他	1	1

③第三者苦情相談

相談開設：6回
 相談場所：浮羽事務所 5/1、9/4、1/15 実施
 吉井事務所 7/3、11/7、3/5 実施

	浮羽	吉井	計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	0	1	1

④弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）
 相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	96
相談件数	96

相談結果

指導助言	93	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	3	
内訳	相談担当者直受	1
	継続相談	1
	相談担当者以外	1

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	不動産関係	19	所有権	1
			売買	3
			賃借権	3
			境界	2
			日照権	1
			相隣	5
			その他	4
	債権関係	16	貸金	12
			売買	1
			その他	3
	損害賠償	10	交通事故	4
			医療事故	1
			その他	5

	相談事項	件数	分類	内数
一般民事関係	その他	11	倒産破産	2
			保証関係	2
			労働関係	1
			その他	6
	家事関係	40	離婚	8
			離婚以外の夫婦関係	2
			相続	19
			親子	5
			その他	6
			合計	

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会を実施しました。

期日	会場	参加者	研修内容
4/3 (火)	うきは市総合福祉センター	27	相談員委嘱状交付 研修「相談員の重要性」 講師／筑後吉井こころホスピタル：梅根真知子理事長
12/3 (月)	うきは市総合福祉センター	22	研修「守秘義務について等」、意見交換会 講師／舞弓紫弁護士

⑥相談窓口啓発パンフレットの配布

福祉委員(福祉委員委嘱状交付式、福祉委員研修会等)の皆さま方にパンフレットの配布を行いました。

(2) ボランティア活動に関すること

①ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日(日、祝日は休み)の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーターの会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

ボランティアセンター相談受付状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	1	2	5	2	1	1	0	0	1	0	0	13
②ボランティア依頼	32	30	27	18	26	24	19	22	21	28	22	21	290
③情報収集	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	6
④その他	8	8	3	0	0	0	2	1	0	2	0	2	26
合計	40	39	32	23	30	26	22	24	22	31	23	23	335

②ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織(低額有償サービス)への斡旋等を行いました。

また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただきました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整をしながら、ボランティア参加を促しました。

[ボランティア活動依頼内訳]

(件)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	外出・旅行介助(ガイドヘルプ)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	移送ボランティア	28	27	23	12	22	21	17	20	21	25	20	20	256
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	イベント手伝い・出し物披露	1	0	1	2	1	3	0	1	0	0	0	0	9
技能提供	朗読、点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	手話、筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、点字の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		1	3	1	3	1	0	0	0	0	3	1	0	13
合計		32	30	27	18	26	24	19	22	21	28	22	21	290

③ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 1,572名】

④ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑におこなわれるよう、活動費の助成や活動支援をおこないました。

(助成金額 698,837 円)

また、5/14 ボランティア連絡協議会総会、10/26 ボランティア連絡協議会役員研修（糸島市ボランティア連絡協議会視察研修）、1/19 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

うきは市では以下のような団体がボランティア活動をおこなっております。

うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会加盟団体	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会 (日赤介護講習修了者グループ)	104 高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会 手作り弁当配布 シルバー男性料理教室 デイサービスセンター美化活動 施設入所者訪問
	声のグループ うさぎ	8 視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3 高齢者世帯や障害者世帯を主として、水道関係・家屋補修および庭木の片付けなどを実施
	ハンディ移送サービスうきは	9 高齢者・障害者の移送サービス（会員制）
	七施会	18 社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ビューティボランティア	2 寝たきり高齢者、障害者を主として訪問美容活動 (髪カット&パーマ)
	舞踊ボランティア	44 福祉施設への訪問活動 敬老会・子ども会・盆踊り大会などへの協力
	ハッピーかい	18 市内外の福祉施設や市内のよりあいでのセラピューティックケア、ハンドケアの実施
	朗読ボランティアともしび会	9 視覚障害者の方に市情報（広報うきは、社協だより等）や物語を録音し届ける
	点筆の会	8 視覚障害者の方に社協だよりや福祉情報、暮らしに役立つ情報を点訳し届ける
	かりん	12 よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力 視覚障害者料理教室等協力、施設訪問
	うきはにわか会	3 よりあいや高齢者施設、病院でうきはにわか（方言を使う楽しい話芸）を披露している
	つぼみの会	16 高齢者施設訪問、在宅介護者へのアドバイス活動
団体・グループ：13 会員数：254 名		
把握団体	子育てサポート菜の花	21 一時預かり保育
	うきは市手話の会	27 聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	おはなし会かきの木	16 幼児・児童・高齢者などへの読み聞かせや日本伝統芸能の紹介
	傾聴ボランティアやまびこの会	1 高齢者施設等での傾聴、交流
	湯の花よかよか会	31 高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきうき会（健康づくりボランティア）	20 公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	70 地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10 クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもにプレゼントを届けて夢を与える
	うきは図書館友の会	15 図書館行事の支援ボランティア
団体・グループ：9 会員数：211 名		
個人	運転ボランティア	8 社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	33 市内でのよりあいで、健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	18 ボランティアセンター個人登録者
個人：59 名		
活動者合計 団体・グループ 22 (465 名) 個人：59 名		

⑤ ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、推進に努めました。

⑥ よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。(よりあいコーディネーター登録者：個人 33 名 団体 1 団体)

【派遣実績】

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	14	18	18	26	13	15	18	20	27	12	34	19	234
団体	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	5

⑦ よりあいコーディネーター養成講座

よりあいでのレクリエーション等の指導に協力して頂けるよりあいコーディネーターを養成し、受講者にはよりあいコーディネーターとして登録して頂きました。

開催日	会 場	参加者	内 容
6/8	うきは市総合福祉センター	22	①よりあいて？ はじめましてのアイスブレイキング
6/15	同 上	24	②仲間と共に楽しむレクリエーション グループで楽しむレクリエーション
6/22	同 上	16	③心も身体もリフレッシュ！ ミュージックケア
6/29	同 上	18	④つくるを楽しむ！ 身近なものでやさしいものづくり
7/6	同 上	21	⑤備えあれば憂いなし！ 高齢者の生きがいづくりと認知症予防
7月	市内のよりあい会に参加	22	⑥よりあいに行ってみよう！ 地域で行われているよりあいに参加
7/27	うきは市総合福祉センター	16	⑦ふりかえってみよう！ よりあいで演出は変わる

⑧ よりあいコーディネーターフォローアップ研修

よりあいコーディネーターに登録いただいている方を対象に、指導力向上を目的に研修を行いました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
9/27	うきは市総合福祉センター	22 名	「高齢者を対象としたレクリエーションの数々 ～指遊び、集団遊び、レクゲーム～」 みらいデイサービス職員・福岡県レクリエーション登録指導員 西野 拓見氏
1/25	うきは市総合福祉センター	13 名	「身近なものでレクリエーション遊具を作って楽しもう！」 レクリエーション・コーディネーター 原田 弘美氏

⑨ ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
7/13	総合福祉センター	9 名	ハンディ移送サービスうきはは協力会員研修会
8/11・18・25・9/1	総合福祉センター	延 72 名	ボランティア入門講座
11/6	うきは自動車学校	19 名	運転ボランティア講習会 (安全運転講習会)
1/19	総合福祉センター	15 名	朗読ボランティア研修会
2/7	総合福祉センター	20 名	セラピューティックケア研修会

⑩ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
2/17	クローバープラザ（春日市）	65名	ふくおか"きずな"フェスティバル

⑪うきは市手話サークルへの支援

聴覚障害者への支援活動を行っている「うきは市手話の会」に、手話講習会や聴覚障害者との交流事業に活動の支援をおこないました。

⑫うきは市山村復興プロジェクトへの協力

九州北部豪雨災害によって大きな被害のあった、小塩校区、姫治校区、妹川校区の山間部の復興支援として、うきは市農林・商工観光課が中心となって市内の各関係団体に呼びかけ、「うきは市山村復興プロジェクト」が企画されました。社協では、ボランティア募集広報、ボランティアの受付、ボランティア活動保険加入手続き、作業用具・公用車の貸出をおこないました。また、活動に職員も参加しました。

〔ボランティア活動保険加入実績〕

【Aプラン】延べ232名（11/25:144名 12/8:39名 1/19-20:40名 2/16:4名 3/16-17:5名）

⑬地域福祉講座の開催（うきはの輪プロジェクト～みんなでつくるうきはの未来・地域・支え合い～）

「いつまでも安心して、うきは市に住み続けるために」を住民の皆さんと考えて行くための講座としてうきは市と共催にて4回の講座を実施しました。

『地域包括ケアシステム』の考えを念頭に置いて、地域の福祉施設や医療関係者の方にも参加頂きました。会場：うきは市総合福祉センター2階大会議室（全講座共通）

	開催日	講 師	内 容	参加者数
第1回	H 24.12.10（月）	大阪府立大学 准教授 小野達也氏	住み慣れたこの古郷で、いつまでも住み続けるために。	62名
第2回	H 24.12.17（月）	講談師 神田織音氏	将来に向けて知っておきたい制度をのぞいてみよう。	67名
第3回	H 25.1.15（火）	motto ひょうご 栗木 剛氏	住みよいまちを築くために、自分に何ができるか考えよう。	69名
第4回	H 25.1.21（月）	久留米大学 教授 松尾誠治郎氏	今だからこそ、「うきはの輪」をひろげていこう。	44名

※参加者に実行委員の数も含む

(3) ふれあいセンター・地区公民館福祉部、福祉会活動支援事業

ふれあいセンターや地区公民館福祉部活動について、担当職員を配置し、活動の支援、連絡調整などをおこないました。

①ふれあいセンター・地区公民館福祉部、運営費・活動費助成

〔ふれあいセンター運営費算定基準〕

世帯数区分	運営費（円）	該 当 地 区
0～500世帯	80,000	妹川 田籠 新川 小塩
501～1,000世帯	120,000	大石 山春
1,001～1,500世帯	160,000	福富（江南）
1,501～2,000世帯	200,000	（千年）（吉井）
2,001～2,500世帯	240,000	御幸

〔ふれあいセンター活動費算定基準〕

平等割り：各地区とも一律 40,000 円

分館数割り：一分館につき 2,500 円

世帯数割り：一戸につき 100 円

高齢率割り：うきは市の高齢率 27.8%（H24.4.1 現在）を基本値に 100% として、各地区の高齢率比率を算出し、基本額 80,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区のふれあいセンターに次の運営費・活動費を助成しました。(円)

	御 幸	山 春	大 石	小 塩	妹 川	新 川	田 籠	福 富	合 計
運営費	240,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	160,000	960,000
活動費	428,400	257,300	278,800	189,500	160,500	198,400	147,400	282,700	1,943,000

※千年・江南・吉井校区の地区公民館福祉部については、規定により運営費については基準の 1/4、活動費についても 1/2 をそれぞれ助成いたしました。

(円)

	千 年	吉 井	江 南	合 計
運営費	50,000	50,000	40,000	140,000
活動費	165,400	168,150	142,100	475,650

※活動費は、各ふれあいセンターや地区公民館福祉部における福祉委員の研修、福祉レクリエーション講習会、福祉大会、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※この他、各事業活動に応じて、追加助成を別途おこなっております。(助成金額 992,600 円)

②ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会

各ふれあいセンターや公民館福祉部の連携や情報交換をおこなうため、ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会を開催しました。

【ふれあいセンター・公民館福祉部連絡会検討内容】

期日・回	検討・情報交換項目
第 1 回 5/9	<ul style="list-style-type: none"> 各ふれあいセンター・公民館福祉部平成 23 年度事業報告・平成 24 年度計画について うきは市社会福祉協議会地域福祉部門事業計画の概要について 地区福祉計画策定報告 第 2 期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
第 2 回 10/30	<ul style="list-style-type: none"> 各ふれあいセンター・公民館福祉部中間報告 災害ボランティアセンター設置報告について 第 2 期うきは市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の経過報告 福祉座談会、福祉小座談会の開催状況について 歳末たすけあい活動について 地域福祉講座の開催について

③福祉会設置推進

ふれあいセンター・公民館福祉部の働きかけにより、今年度は新規に以下の 3ヶ所で福祉会が設置されました。

地 区	福祉会名	設立年度
山春地区	吉広区福祉会	平成 24 年度
山春地区	上組区福祉会	平成 24 年度
山春地区	下組区福祉会	平成 24 年度

■地域福祉活動リーダー研修への参加

両筑地区社会福祉協議会連絡会主催の地域福祉活動リーダー研修に福祉会役員及びふれあいセンター・公民館福祉部役員の皆さまに参加して頂きました。

期 日	会 場	内 容	参加者
9/24 (月)	大刀洗 ドリームセンター	講演 「仲良く笑って生きること」 講師 宮城県名取市応急仮設住宅「箱塚桜団地」 自治会長 大脇 兵七 氏	29名

④福祉会活動支援・助成

うきは市内に26福祉会（36行政区）がありますが、助成要望書の提出があった24福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福 祉 会 名	設立年度	地区	福 祉 会 名	設立年度
大石	古川村福祉会	平成12年度	大石	東の4・5区福祉会	平成17年度
山春	保木区福祉会	平成12年度	大石	東の1・2・3区福祉会	平成17年度
山春	袋野区福祉会	平成12年度	大石	古川町区福祉会	平成17年度
山春	西長瀬区福祉会	平成12年度	山春	川籠石区福祉会	平成18年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成12年度	御幸	朝田原区福祉会	平成20年度
御幸	川原町区福祉会	平成13年度	御幸	中町区福祉会	平成20年度
妹川	檜ヶ平区福祉会	平成13年度	御幸	御幸通区福祉会	平成20年度
御幸	旭町区福祉会	平成13年度	御幸	浮羽区福祉会	平成21年度
山春	三春原福祉会	平成14年度	大石	西高見（西の1・2・3・5）福祉会	平成21年度
大石	東の6区福祉会	平成15年度	大石	西の4区福祉会	平成22年度
大石	中鶴区福祉会	平成15年度	山春	吉広区福祉会	平成24年度
大石	糸丸区福祉会	平成15年度	山春	上組区福祉会	平成24年度
山春	大野原区福祉会	平成16年度	山春	下組区福祉会	平成24年度

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には入りません。大野原区福祉会、東の6区福祉会は助成要望書の提出がありませんでした。

⑤福祉小座談会の開催

区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆様と地域で悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

地区	実 施 区 名
御幸 (27区)	松本/今川通/東町/中町/川原町/隈の上/宮本/本町/西町/千足一/千足二/千足三/千足新町/千足四/中川原/旭町/朝田原/一の瀬/一の瀬新町/小坂/上流川/下流川/東浮羽/御幸通/千足五/浮羽/大崎
大石 (8区)	西の1/西の2/西の3/西の5/東の4/東の5/古川村/糸丸
山春 (17区)	吉広/下組/上組/中園/国本/大野原/北原/保木/畑中/荒瀬/袋野/川籠石/三春原/東長瀬/西長瀬/原口/古賀
新川 (8区)	全区一斉
福富 (9区)	八竜/西屋形/東福益/西延寿寺/安富/北福益/東屋形/東延寿寺/千代久
江南 (19区)	上古賀/稲崎/中島/富小/庄園/下菅/今泉/上菅/島/太田/高田/夏沖/今竹/末石/金本/清宗/三牟田/岩光/新治団地
千年 (1区)	若宮

⑥よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成をおこないました。

開催回数／ 297 回 開催区数／ 81 区

参加内訳：高齢者／ 4,402 名 世話人／ 1,296 名 その他／ 724 名 参加者計／ 6,422 名

地 区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	281	76	95	452	16
新川地区	1/8	17	3	1	21	1
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	3/4	337	74	58	469	37
山春校区	14/17	589	228	103	920	42
大石校区	17/18	532	245	125	902	28
御幸校区	21/28	1,225	400	157	1,782	63
千年校区	7/20	490	90	82	662	39
福富校区	8/15	459	90	31	580	33
吉井校区	5/23	170	44	30	244	15
江南校区	3/19	302	46	42	390	23
計	81/158	4,402	1,296	724	6,422	297

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。
また、よりあいの手引き書を、福祉委員や民生委員等関係者に配布し、推進を図りました。

(4) 地区活動計画策定支援

昨年度、ふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部が策定した地区福祉活動計画について、地域住民への周知を図るために、それぞれの地区での説明会、啓発資料としてのポスター作成などの支援にあたりました。

(5) 民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

・助成実施行政区 54 行政区 参加者 229 名（民生委員、福祉委員、区長、ボランティア等）

9. 共同募金配分金事業

(1) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出をおこないました。

■平成24年度貸出 総数 1 2 4 件■

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会をおこないました。

開催日／ 10/10 (水) 会場／ J A にじ総合会館アルカス 該当者／ 84 組

祝宴参加者／ 67 組 (127 名)

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、活動の側面的支援を行うほか、活動助成金を支出しました。

団 体 名	助成金額	助 成 活 動
うきは市 老人クラブ連合会	4 9 7, 9 1 2 円	・活動保険加入 ・高齢者相互支援活動 ・50周年記念大会 ・新任会長研修 ・グラウンドゴルフ大会 ・県ゲートボール大会 ・県福祉大会 ・リーダー研修 ・幹部研修会 ・シルバー保安官見守り所改修

④一人金婚式の助成

妹川・御幸・小塩地区公民館主催で実施された一人金婚式に対し、助成を行いました。(90,000円)

⑤高齢者安心カード作成(個人情報記載携帯カード)

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申込み記入用紙を配布、記入の後、97名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(2) 障害者・家族への支援

①障害者団体活動支援・助成

障害者(支援者)団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市障害者福祉協会	411,650円	・部会活動(視覚障害者部会・聴覚障害者部会他) ・会員交流活動
うきは市知的障害者育成会	142,790円	・会員交流会
チャレンジド親の会	112,550円	・会員交流会 ・映画上映会
合計	666,990円	

②障害者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障害者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関する情報提供をおこないました。また、人権フェスティバルにおいてパネル展示等で啓発に努めました。

③視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア(声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会)の協力により、広報うきは、ふくしのかかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。(利用者:8名)

また、市内の点字を利用している視覚障害者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、ふくしのかかわら版など身近な情報を点訳し届けました。(利用者:8名)

④浮羽共同作業所活動支援・助成

精神障害者の共同作業所である、NPO法人みつば会「浮羽共同作業所」に対し、共同募金配分金より一般活動費として30万円を助成しました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成をおこないました。

名称	助成額	名称	助成額
育児サークルちびっこ広場	32,905円	姫治学童保育所	30,000円
遊林学童保育所(遊林クラブ)	30,000円	吉井学童保育所	30,000円
江南学童保育所	30,000円	久留米児童相談所管内施設連絡協議会	3,000円
		合計	155,905円

②子ども用遊具貸出

各子育て支援団体等に必要遊具を貸し出ししました。

③母子・父子福祉活動事業

平成24年度に小学校に入学したお子さん(母子・父子家庭)に対して、新入学お祝いとして、学用品(水彩道具セット)をお送りしました。(新入学児童数:26名)

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	活動概要
うきは市母子寡婦福祉会	576,342円	・親子バスハイク（会員交流） ・若年母子研修会 ・寡婦研修会 ・野球観戦（会員交流） ・新入学お祝い品（文房具）

⑤子育て支援情報の提供

ふくしのかかわら版にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。また、子育て情報紙（当事者が取材、編集）を5月、1月に発行しました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、児童を対象に筑後川河川事務所との共催により、うきは市内を流れる巨瀬川（浮羽町妹川）において水生生物による簡易水質調査と、視覚障害者を講師に招いて、視覚障害についてのお話と点字体験を実施しました。〔実施日 8/8 参加者 31名〕

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧うきは絆プロジェクトへの協働

昨年度、うきは警察署より、軽犯罪を犯した少年少女達の立ち直り支援として、ボランティア活動参加や地域行事の協力などできないかと相談を受け、社協、ボランティアセンター、防犯委員、地域の方々とともにボランティア活動・地域活動を行いました。

金本区内に畑を借りて開いた「きずな農園」では、保育園児達との交流をしながら、農作物を作ったり、昨年に引き続き、収穫した野菜で豚汁を調理し、JAにじ耳納の里にてチャリティ募金活動を行い、うきは市の豪雨災害義援金として寄付しました。

また、年末には、福祉センター利用者の餅つき交流会も実施し、当事者家族も大変喜ばれてました。

(4) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催いたしました。
(福祉教育指定校連絡会開催日 5月31日、3月13日)

②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。(助成金 小中学校 12校×70,000円)

なお、浮羽究真館高等学校については、助成金の申請がありませんでした。

③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。体験学習を実施する際には、ボランティアコーディネーターや地域の方にもご協力頂きました。

実施日	学校名	内容
9/19	山春小学校	視覚障害について、点字体験
10/5	江南小学校	視覚障害について、点字体験
10/18	御幸小学校	視覚障害、聴覚障害について、点字体験、手話体験、車イス体験
10/9	吉井小学校	「よりあい」について講話
11/13	吉井小学校	若宮区、2区のよりあいへ参加 地域の高齢者との交流
12/14	福富小学校	視覚障害について

④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の5年生に1冊ずつ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の生活問題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、分館長、民生委員児童委員に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場助成として、1行政区より申請があり助成をしました。

支出日	対象地区	内容	助成額
6/7	9区(吉井校区)	公園遊具補修	28,000円

⑤ホームページの開設・情報定期更新

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。

⑥福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなっておられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	105	シルバーカー	4
介護用ベッド	10	松葉杖	2
ポータブルトイレ	16	杖	3
シャワーチェア	3	歩行器	2
		合計	145

⑦福祉車両の無料貸出

普通の車での外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。(但し、燃料費自己負担)
・平成24年度 延利用件数43件

(6) 災害緊急支援活動に関する事業

①災害ボランティアセンター整備

7月に発生した九州北部豪雨災害によって、うきは市内も大きな被害を受けたため、うきは市災害ボランティアセンターを設置・運営しましたので、以下のような資機材を整備しました。

資 材	数	資 材	数	資 材	数	資 材	数
災害用ラジオ	1	かき板 (大)	27	カラーコーン	3	バケツ	43
ノーパンク自転車	1	丁能鋤	6	安全ベスト	2	シダ箒	20
ヘルメット	30	熊手	5	けん引ロープ	1	竹箒	10
ブルーシート	6	バール	8	深型一輪車	7	懐中電灯	3
軍手	24	じょれん	2	噴霧器	2	プラボックス	5
救急箱	1	杓子	2	かき板 (小)	13	クーラーボックス	6
ノーパンク一輪車	5	デッキブラシ	23	三本鋤	9	高圧洗浄機	3
剣スコップ	18	ホースリール	6	つるはし	1	土嚢袋	160
角スコップ	20	じょうろ	20	水切りワイパー	36	洗車ブラシ	5
ロープ (100m)	2	熊手箒	9	ハンマー	5	水タンク	4
アルミブリッジ	1	てみ	30	十能	32		

②災害ボランティアセンターマニュアル策定

昨年度、市より災害ボランティアセンターの設置要請があった場合、速やかにセンターを設置することができるよう、設置マニュアルの策定を行いました。

今年度は、引き続きその運営編を含めたマニュアルの策定を行いました。策定に当たっては、各課職員からなる、災害ボランティアセンター活動マニュアル策定プロジェクト委員会を設置しました。

委員会開催回数	期 日	内 容
第 9 回委員会	4/9	うきは市災害ボランティアセンター設置マニュアル完成版確認 委員会の報告について、マニュアル職員周知方法について、設置訓練 について、マニュアル(運営編)の策定の進め方について
第 10 回委員会	5/1	前回の説明・まとめ、設置訓練について、マニュアル職員周知方法に ついて、マニュアル(運営編)の策定の進め方
第 11 回委員会	5/27	災害ボランティアセンター設置訓練の反省
第 12 回委員会	6/8	災害ボランティアセンター設置訓練のまとめ、マニュアル(運営編) 策定の進め方
第 13 回委員会	7/2	前回の説明・まとめ、マニュアルの見直し
第 14 回委員会	9/24	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンター設置をしての反省 関係機関・団体との連携と情報発信についての報告
第 15 回委員会	10/29	前回の説明・まとめ、災害ボランティアセンターマニュアル全体の見 直し

③災害ボランティア養成・訓練

5/27に市の総合防災訓練に合わせて総合福祉センターにて、熊本県ボランティアセンター所長江口俊治氏を講師としてお招きし、社協職員及びうきは市ボランティア連絡協議会会員と両筑地区社協職員、県社協職員が参加し、災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。

また、次のような災害関係研修会に職員が参加しました。

期 日	場 所	内 容	参加者
9/25	クローバープラザ(春日市)	災害ボランティアセンター設置社協会議 災害ボランティアセンター運営を学ぶ研修会	職員 3名
10/13.14	大刀洗町社協	平成24年度災害ボランティアコーディネーター養成講座	職員 2名
2/4	福岡市	災害支援活動の連携協働研修会	職員 1名
2/6	福岡市	災害支援活動の連携協働研修会	職員 1名
3/12	福岡市	災害支援活動の連携協働研修会	職員 1名
3/15	福岡市	地域防災と大学生の力公開討論会	職員 1名

④うきは市災害ボランティアセンター開設

7/13 から 7/14 にかけて降り続いた大雨により、うきは市の各所で甚大な被害が発生しました。うきは市社会福祉協議会では、市の要請を受けて、うきは市災害ボランティアセンターを総合福祉センター内に開設し、市内外からのボランティアの受入を行い、被災家屋等の復旧支援活動を実施しました。

■うきは市災害ボランティアセンター開設期間

開設期間：7月16日(月)～8月3日(金)

センター運営に当たり、両筑管内社協、福岡県内社協、福岡県社協の職員、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議等の協力をいただきました。(延べ46名)

■ボランティア対応ニーズ

ニーズ内容		完了件数
土砂除き(床下等)		25
家周り等の清掃		1
災害ゴミの搬出		7
その他	消毒	1
	土嚢袋の搬出	4
	家財道具出し	1
	庭先の陥没の穴埋め	1
合 計		40

■ボランティア活動実績

期日	曜日	対応件数	人数	内 訳	
				新規	継続
7/16	月	3 (職員対応)			
7/17	火	5	8	8	0
7/18	水	8	53	46	7
7/19	木	9	59	56	3
7/20	金	1	10	8	2
7/21	土	1	13	3	10
7/22	日	12	107	99	8
7/23	月	5	53	45	8
7/24	火	9	49	33	16
7/25	水	9	59	39	20
7/26	木	5	45	28	17
7/27	金	4	25	15	10
7/28	土	0	0	0	0
7/29	日	1	7	7	0
7/30	月	0	0	0	0
7/31	水	1	8	8	0
8/1	木	9	14	6	8
8/2	金	1	5	3	2
8/3	土	1	3	3	0
合 計		84	518	407	111

■ボランティア参集状況

期日	曜日	個 人					団 体	
		市内	県内	九州内	九州外	合計	団体数	人数
7/17	火	7	0	0	1	8	0	0
7/18	水	23	20	9	1	53	0	0
7/19	木	25	31	0	3	59	0	0
7/20	金	0	0	0	0	0	1	10
7/21	土	3	0	0	0	3	1	10
7/22	日	26	74	2	1	103	1	4
7/23	月	32	13	5	3	53	0	0
7/24	火	13	24	2	0	39	2	10
7/25	水	18	21	4	1	44	2	15
7/26	木	13	19	4	1	37	1	8
7/27	金	8	11	4	2	25	0	0
7/28	土	0	0	0	0	0	0	0
7/29	日	0	0	0	0	0	1	7
7/30	月	0	0	0	0	0	0	0
7/31	水	0	0	0	0	0	1	8
8/1	木	6	7	0	1	14	0	0
8/2	金	1	4	0	0	5	0	0
8/3	土	0	0	0	0	0	1	3
合 計		175	224	30	14	443	11	75

⑤他市災害ボランティアセンターへの支援

支援先	期 間	人 数	内 容
日田市	7/3	13名	ボランティアとして職員参加
	7/10～7/12	延べ4名	センター運営派遣
八女市	8/2,3,8	延べ6名	救援物資の搬入
	8/17～31	延べ9名	センター運営派遣

(7) たすけあい援護金品の支給に関する事業

①要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」様ならびに農産物搬入者様のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日の午前中にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた配達を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしました。(区分の重複あり)

区 分	対象	延べ回数	備 考
低所得世帯	23	415	
障害世帯	11	246	
生保世帯	11	126	保護開始前、停止後の支援も実施
母子世帯	9	286	
その他	4	138	医療機関等
合 計	58	1,211	

②火災等災害被災者へのお見舞い

火災の災害に遭われた市民の方に対し緊急に見舞金を贈りました。(件数：3世帯(8名))

③九州北部豪雨災害被災者へのお見舞い

豪雨災害によって被災された方へお見舞い金を贈りました。(件数：11世帯(27名))

(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

※年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞事業総額：2,738,940円)

援護の必要な世帯(50世帯)	108名	1,306,000円	遺児	5名	55,000円
長期在宅療養・認知症の方	39名	429,000円	両親の扶養のない児童	2名	22,000円
在宅重度障害者(児)	84名	924,000円	取次用領収書		2,940円

②年末年始援助活動

※年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,644,410円)

①福祉施設歳末行事 (2施設) 61,988円 介護老人保健施設うきは、浮羽学園	⑥子育て支援活動 254,184円 御幸学童保育所(うきうきクラブ)「クリスマス会」 大石学童保育所(ラビットクラブ)「クリスマス会」 江南学童保育所(きらきらルーム)「クリスマス会」 福富学童保育所「クリスマス会」 吉井学童保育所(にこにこクラブ)「クリスマス会」 姫治学童保育所「新年会」 子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」 子育てサークルひよこくらぶ「クリスマス会」 グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた～」
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 439,250円 要援護世帯へのカレンダー配布	⑦年賀状配布事業 2,300円 吉井幼稚園による一人暮らしの方への年賀状配布(46通)
③正月用おもち配布活動 73,202円 吉井幼稚園・吉井地区民児協によるお餅配布(304名) 少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布(49世帯73名)	
④地域交流活動事業 182,772円 うきは市手話の会「クリスマス交流会」 チャレンジド親の会「障害のある子どもたちと家族の交流会」 ハッピーかい「福祉施設利用者やよりあい参加者との交流」 不登校・ひきこもり親の会(みつばちの会)「クリスマス会」 うきは市母子寡婦福祉会「若年親子クリスマス会」 吉井幼稚園「浮羽老人ホーム慰問」	
⑤ふれあいセンター等歳末援助活動 630,714円 ふれあいセンター田籠・新川・小塩・妹川・山春・大石・御幸・福富 千年・吉井・江南公民館福祉部	

10. 資金貸付事業

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

■貸付調査委員会■

回数	期日	会 場
第1回	7/5	うきは市総合福祉センター
第2回	8/23	うきは市総合福祉センター
第3回	12/21	うきは市総合福祉センター
第4回	1/7	うきは市総合福祉センター
第5回	3/11	うきは市総合福祉センター
第6回	3/25	うきは市総合福祉センター

(1) 生活福祉資金貸付事業 (県社協より事務委託)

【平成24年度貸付】

(件)

資金種類	24年度取扱い分	うち24年度新規
総合支援資金	5	0
福祉資金	8	2
緊急小口資金	6	2
教育支援資金	51	4
不動産担保型生活資金	1	0
計	71	8

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	42
教育費	25
その他(問い合わせ)	17
計	84

(2) 援護資金貸付事業

【平成24年度状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	433,236円	10			323,236円	110,000円	3
24年度内貸付			981,000円	18	461,500円	519,500円	5
合 計	433,236円	10	981,000円	18	784,736円	629,500円	8

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、24年度は1名を採用しました。

【育英奨学資金償還状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
分割貸付完了分	1,185,400円	6			445,600円	739,800円	4
24年度内貸付			192,000円	1	0円	192,000円	1
合 計	1,185,400円	6	192,000円	1	445,600円	931,800円	5

11. 家族介護支援事業

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者家族の会「コスモス会」活動支援・助成

実施日	行事内容	参加者数
4/17	役員会	6名
5/8	総会、交流会	16名
6/5	役員会	5名
7/10	定例会(料理教室) 講師：コスモスの会会員 役員会	13名
7/22	定例会(家庭介護介助者養成講座) 主催：福岡県市町村振興協会	7名
7/29	定例会(家庭介護介助者養成講座) 主催：福岡県市町村振興協会	9名
8/2	定例会(介護リフレッシュ講座) 講師：ハッピーかい	18名
9/6	定例会(高齢者疑似体験) 講師：福岡県社会福祉協議会 役員会	11名
10/2	役員会	5名
11/2	定例会(応急処置について) 講師：日本赤十字社福岡県支部 役員会	7名
12/7	定例会(介護料理教室) 講師：栄養士 高浪真由美氏 役員会	13名
1/10	研修会(クローバープラザ生涯あんしん住宅見学)	8名
1/19	久留米市民公開シンポジウム(かしこく学ぼう介護医療福祉のしくみ)	3名
3/12	役員会	6名
合 計		127名

②うきは市在宅介護者のつどい

期日	内 容	参加者数
2/14	在宅介護者のつどい リフレッシュ日帰りの旅 場所：ギャラリー茶寮 南の風	12名
	合 計	12名

12. 移送サービス支援事業

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、送迎サービスを実施していただきました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。(利用無料、活動協力費を社協助成)

【ハンディ移送サービス利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	16	18	21	15	19	16	18	11	20	13	17	15	199	
内 訳	独居高齢者	6	9	11	7	8	6	6	4	6	4	6	5	78
	高齢者世帯	6	5	6	4	5	5	6	5	7	5	6	5	65
	身体障害者	2	1	1	2	2	2	3	0	3	2	2	2	22
	視覚障害者	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	25
	知的障害者	0	1	1	0	1	1	1	0	2	0	1	1	9
	内部障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数	29	34	31	26	32	27	32	23	23	17	19	17	310	
内 容	通院送迎	29	34	31	26	32	27	32	23	37	17	19	17	310
	買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用時間（時間）	66.0	80.0	67.5	64.5	72.5	60.0	62.5	43.5	70.5	47.5	53.5	42.0	730.0	
走行距離（km）	737	988	868	746	922	694	832	466	818	512	648	525	8,756	

Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門

1. うきは市ケアプランサービスセンター

- 営業日／月～金曜日（但し、国民の休日、12／29～1／3を除く）
- サービス提供時間／午前8時30分～午後5時15分
- 職員体制／介護支援専門員5名（内、兼務職員2名）

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

居宅支援計画作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	94	97	102	104	101	104	104	103	108	102	100	103	1,222	101.8

(2) 受託事業

- ①介護予防支援事業（うきは市地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成
予防プラン作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	30	30	29	26	24	24	24	21	23	25	23	23	302	25.2

2. うきは市ヘルパーステーション

- 営業日／年中無休（但し、12／31、1／1を除く）
- サービス提供時間／午前7時～午後9時
- 職員体制／ホームヘルパー12名

(1) 介護保険事業

- ①介護予防訪問介護事業：要支援認定者へのヘルパー派遣
②訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

介護予防訪問介護及び訪問介護事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護予防	利用者数	25	23	24	21	22	20	20	24	25	25	25	27	281	23.4
	訪問回数	145	162	151	130	133	118	127	153	142	145	143	159	1,708	142.3
訪問介護	利用者数	33	36	37	40	36	35	39	36	38	38	39	40	448	37.3
	訪問回数	588	624	669	705	617	620	620	595	589	563	591	633	7,420	618.3

(2) 障害者自立支援事業

- ①居宅介護：介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者へのヘルパー派遣。

障害者居宅介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	18	19	20	21	20	20	18	18	17	17	18	18	224	18.6
利用回数	252	262	246	335	314	283	288	263	245	227	209	255	3,179	264.9

- ②同行援護：視覚障害者のガイドヘルプ（平成24年10月1日県指定）

障害者同行援護事業実績

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	3	2	2	1	2	2	12	2.0
利用回数	21	19	15	2	3	10	70	11.6

(3) 受託事業

- ①生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

※介護保険認定外者で、日常生活を営むのに支障がある独居高齢者等に対し、生活管理指導員を派遣し、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要支援・要介護状態への進行防止に努めました。

生活管理指導員派遣事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	9	8	8	7	7	8	8	8	9	9	9	10	100	8.3
利用回数	31	33	33	30	23	28	28	29	33	31	33	34	371	30.9

②移動支援事業（市受託事業）

※介護保険での訪問介護事業と併せて実施。障害者の外出支援（ガイドヘルプ）

障害者移動支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	4	5	4	4	5	5	1	1	1	1	0	2	33	2.8
利用回数	19	38	30	12	17	23	1	1	1	1	0	2	145	12.1

③母子家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

※日常生活を営むのに支障が生じている母子家庭に、家庭生活支援員（ヘルパー）を派遣して、生活を支援します。

・利用実人員 1 名 延べ利用回数 7 回 (H24.12 月～ H25.1 月)

3. うきは市デイサービスセンター

□営業日／年中無休（但し、8 / 14・15、12 / 31～1 / 3 を除く）

□サービス提供時間／介護予防通所介護：午前 9 時 30 分～午後 4 時（時間延長にも対応）

通所介護：午前 9 時 15 分～午後 4 時 30 分（時間延長にも対応）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

調理員 4 名（内、兼務職員 1 名）、献立：管理栄養士（兼務職員）

(1) 介護保険事業

①介護予防通所介護事業

※要支援認定者へ運動器機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態とならないように努めました。

②通所介護事業

※要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

□1 日の職員体制／職員 8 名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

※介護予防通所介護事業と一体的に実施。

③認知症対応型通所介護事業

※認知症専用の通所介護施設として、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを実施し、認知症の方の介護並びに進行防止に努めました。

□1 日の職員体制／職員 4 名（管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

④訪問入浴介護事業

※要介護認定者の自宅を移動入浴車で訪問し、利用者居室にて入浴介助を行い、身体の清潔保持に努めました。

□1 回の職員体制／看護職員 1 名と介護職員 2 名。

うきは市デイサービスセンター介護保険事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
介護予防 通所介護	利用者数	38	38	38	35	32	34	32	29	31	29	26	25	387	32.3
	利用回数	214	251	243	194	180	201	216	183	180	172	145	157	2,336	194.7
通所介護	利用者数	38	39	39	40	43	43	43	47	49	47	52	53	533	44.4
	利用回数	414	462	454	449	514	524	548	547	524	492	497	658	6,083	506.9
認知症デイ	利用者数	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	124	10.3
	利用回数	101	117	111	119	110	96	109	119	117	112	116	111	1,338	111.5

訪問入浴	利用者数	7	6	8	9	10	9	8	7	7	6	6	5	88	7.3
	利用回数	29	29	30	34	44	43	33	31	31	28	26	23	381	31.8

(2) 受託事業

① 生きがい活動支援通所事業（市受託事業）

※介護保険認定外者の高齢者に対し、要支援・要介護状態とならないようにサービスを提供しました。

介護保険での通所介護事業と併せて実施。

・利用者負担／1回 1,000円（昼食、おやつ、入浴、送迎付）

生きがい活動支援通所事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	0	14	13	14	14	14	17	18	18	18	15	16	171	14.3
利用回数	0	57	50	50	46	55	71	63	59	52	39	58	600	50.0

② 身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

※介護保険での訪問入浴介護事業と併せて実施。障害者世帯に移動入浴車で訪問し入浴介助。

身体障害者訪問入浴サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	22	1.8
利用回数	12	12	8	11	8	5	4	5	8	8	8	10	99	8.3

4. 福祉給食センター（市役所西別館）

(1) 食の自立支援事業（市受託事業）

日曜日を除く毎日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食を調理し、健康確認や安否確認をしながら配食しました。

今年度は、市の対象者緩和措置の実施もあり、昨年度より利用者数、配食数共に大幅に増加しました。

□利用者負担／1食400円（但し、生活保護受給者は1食300円）

□活動体制／調理：給食員3.5名（3月現在）

献立：管理栄養士（兼務職員） 配食：給食員とボランティア

□配食コース／3月：昼食4コース、夕食6コース（内、ボランティア7名）

食の自立支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	101	97	95	102	105	99	102	101	107	102	103	103	1,217	101.4
実施日数	25	27	26	26	25	25	27	26	25	24	24	26	306	25.5
配食数	昼食	1,097	1,174	1,199	1,198	1,161	1,118	1,179	1,049	982	867	946	12,991	1,082.6
	夕食	1,880	1,986	1,958	1,992	1,962	1,987	2,104	2,093	2,031	1,875	1,901	23,795	1,982.9
	合計	2,977	3,160	3,157	3,190	3,123	3,105	3,283	3,142	3,013	2,742	2,847	36,786	3,065.5
日平均	昼食	43.9	43.5	46.1	46.1	46.4	44.7	43.7	40.3	39.3	36.1	39.4	42.5	
	夕食	75.2	73.6	75.3	76.6	78.5	79.5	77.9	80.5	81.2	78.1	79.2	77.8	
	合計	119.1	117.0	121.4	122.7	124.9	124.2	121.6	120.8	120.5	114.3	118.6	120.2	

5. ワークサポート 白鳥の家

□開所日 月～金曜日（但し、国民の休日及び8/15、12/29～1/3を除く）

□開所時間 午前9時～午後4時

□職員体制 管理者1名、サービス管理責任者1名

就労移行支援事業：生活支援員1名、職業指導員兼就労支援員1名

就労継続支援事業B型：生活相談員1名、職業指導員2名、商品企画員1名

(1) 就労移行支援事業

□定員：6名

□主な訓練・活動（作業）内容：

・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）

- ・生産活動（下請け作業、名刺作成など）
- ・職場実習・トライアル雇用の支援（実習先の開拓、実習先訪問）
- ・求職活動支援（ハローワーク登録）
- ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	袋紐通し（飯田製袋様）等
印刷作業	名刺印刷
パンの家スワンベーカリー	喫茶ルーム
喫茶あひるの子	喫茶、パン販売

□成果：就労者1名（事業所所在地：久留米市田主丸町） 就労者累計2名

(2) 就労継続支援事業B型

□定員：15名

□主な訓練・活動（作業）内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

作業名	作業内容
アルミ回収作業	ボランティア、市民の皆様にご協力頂いています
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り
スワンショップ	日用雑貨品の販売（（有）池内リサイクリング様、地域の皆様からの寄付物品を販売しています）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム
喫茶あひるの子	喫茶、パン販売、接客

□工賃実績：1人当たりの月額平均工賃 28,685円（時給換算 329円）※県指定計算式による
（平成23年度福岡県工賃平均額 13,309円）

ワークサポート白鳥の家 主な行事

期日	行事内容
H24. 4/12	新作業棟竣工式
4/23	ボランティアグループあいの会食事会
6/18	23年度収支報告会
7/4～5	宿泊研修 熊本～福岡
8/27	避難訓練（消防署立会）
10/5	赤い羽根街頭募金活動
10/13	御幸地区福祉大会出店参加
11/11	大石校区といもっさい出店参加
	山春校区福祉大会出展参加
11/18	袋野敬老会出店参加
11/19	ボランティアグループあいの会食事会
12/9	うきは市人権フェスティバル出店販売
H25. 2/18	仲間交流会

ワークサポート白鳥の家事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
就労	利用者数	4	5	5	5	5	4	5	4	4	4	5	4	54	4.5
移行	利用回数	65	76	76	56	83	75	96	82	74	72	71	71	826	68.8
就労	利用者数	18	18	18	17	16	18	18	18	19	18	18	20	216	18
継続	利用回数	287	322	329	245	268	259	334	303	291	269	286	308	3,501	291.8

6. 制度外サービス

(1) 暮らし安心サービス

※利用者や介護支援専門員の要望を受けて、介護保険事業である訪問介護並びに障害者自立支援事業である居宅介護では、対象とならない身体介護・生活援助サービスを提供し、在宅生活を支援しました。

□利用者負担／1回当たり

30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
800円	1,600円	2,400円	800円

暮らし安心サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	9	10	7	6	4	4	7	6	8	6	6	6	79	6.6
利用回数	59	40	24	14	8	12	57	13	19	20	18	10	294	24.5

(2) 認知症高齢者ナイトケア事業

※利用者家族からの要望を受けて、介護保険事業である短期入所生活介護（ショートステイ）以外の取り組みとして、夜間預かりを実施しました。

□利用者負担／ナイトケア代（1泊）2,000円、食事代（夕食・朝食）500円

認知症高齢者ナイトケア事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1泊2日	5	8	0	4	2	3	2	2	0	4	2	12	44	3.6
2泊3日	0	1	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	7	0.6
3泊4日	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	4	0.3

(3) あったか宅配サービス

※利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが、該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、月曜日から土曜日、昼食と夕食を配食。配食時は、健康状態や安否の確認をしました。

□利用者負担／1食500円

あったか宅配サービス事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	12	12	12	11	10	9	9	10	9	9	10	12	125	101.4
利用回数	247	249	246	214	190	174	199	199	188	184	194	238	2,522	210.2

7. 関係機関との連携・連絡調整

*介護保険事業については、うきはブロック介護サービス事業連絡会（市内介護サービス事業所で組織）を通じ、事業者間の連絡会議・研修会等に参加し、事業者間の連携と職員の資質の向上に努めました。特に24年度は、認知症高齢者等の徘徊について事業所間の搜索協力に向けたネットワーク構築についての検討を行いました。

*久留米市社会福祉協議会田主丸支所との介護保険事業相互研修では、事業の安定経営・課題解決に向けて、事業の実施状況、24年度介護報酬改正に伴う取り組み、事業所毎の課題と解決に向けての取り組みについて情報交換を行いました。

*障害者就労移行支援事業については、障害者就業・生活支援センター『ぼるて』と連携によりぼるて登録後、本人の希望・支援者（専門職）から見た適応性を考慮し、利用者にあった職場の開拓を協力して行っています。また、ハローワークへの登録、紹介状の受け取りについても職員が同行して行き、企業面接も職員同席にて受けています。こうした、関係機関からの実習先の紹介、個人面談、求人事業所紹介など、一人でも多くの利用者の就労が実現するよう努めました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況

(1) ワークサポート 白鳥の家

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
東峰学園 中学部 福祉体験	4	小郡特別支援学校3年生 (実習)	3	小郡特別支援学校2年生 (実習)	1
吉井中学校1年生福祉体験	5	福岡高等視覚特別支援学校 3年生 (実習)	1	日田特別支援学校3年生 (実習)	1
筑後特別支援学校3年生 (実習)	1	福岡市立屋形原特別支援 学校3年生 (実習)	2	小郡特別支援学校1年生 (実習)	1
千年公民館福祉部 (視察)	25	日田市大鶴地区 (視察)	19	福岡市立屋形原特別支援 学校 (視察)	3
大刀洗町社協 (視察)	25	福岡市宮竹校区 (視察)	45	国際ソロプチミスト浮羽 (視察)	18
				計 15団体 154名	

(2) 通所介護事業 (うきは市デイサービスセンター)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
吉井中学校1年生	5	九州大谷短期大学	2	ふれあいセンター御幸	13
				計 3団体 20名	

(3) 訪問介護事業 (うきは市ヘルパーステーション)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
九州大谷短期大学	2	朝倉光陽高等学校	8	日本赤十字社	3
久留米学園高等学校	1	平岡介護福祉専門学校	1	計 5団体 15名	

(4) 社会福祉士援助技術現場実習 (地域福祉課)

団体・組織	人数
西南学院大学	1
計 1団体 1名	

(5) 視察受入 (地域福祉課)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
柳川市沖端地区社協	14	伊万里市社会福祉協議会	15	嘉麻市社会福祉協議会	3
				計 3団体 32名	

(6) 視察受入 (総務課)

団体・組織	人数	団体・組織	人数
大刀洗町議会	17	筑後市社会福祉協議会	14
		計 2団体 31名	

V 平成24年度寄付

一般会計（香典返し寄付）

香典返し寄付金	合計 323 件	9,955,000 円
----------------	-----------------	--------------------

一般会計（一般寄付）

一般寄付金	合計 103 件	1,808,271 円
--------------	-----------------	--------------------

一般会計（物品寄付）

物品寄付	合計 2 件	212,270 円
-------------	---------------	------------------